

NGOと開発援助

環境、貧困、公共性

地球温暖化、森林破壊などの地球環境問題、途上国の飢餓・貧困問題、広がる貧富の格差、人権問題など、グローバル化が進展する中で、さまざまな問題が深刻化しています。

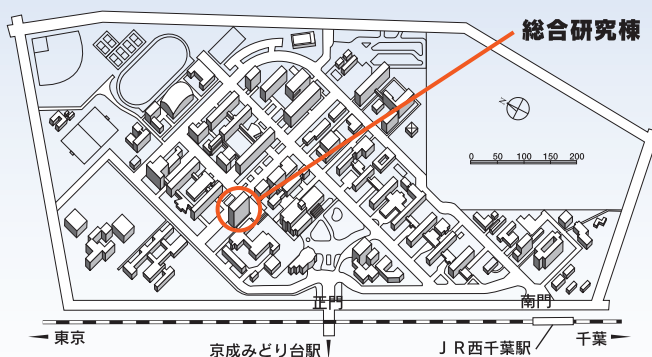
そのような問題を解決するべく、各国政府、国際機関、NGOなど多様なアクターによって援助や開発協力が進められています。しかし、そのような援助は本当に役に立っているのでしょうか？ 援助は地球規模の公共善の実現にどのように結びつくのでしょうか？

今回のCOEシンポジウムでは、実際に開発援助や開発の問題に携わっている政府担当官、国際機関のスタッフ、NGO、研究者の方々を国内外からお招きし、開発援助を多様な視点から多面的に考え、あるべき開発援助、開発協力のあり方を考えます。そして、援助を通じて持続可能な福祉社会をグローバルな規模で実現するための方策を探りたいと思います。

年末のご多忙な時期ではありますが、みなさまのお越しを心からお待ちしています。

日時：2004年12月28日(火) 10:00~18:00

場所：千葉大学大学院社会文化科学系総合研究棟
2階 マルチメディア会議室



JR西千葉駅
京成みどり台駅
より徒歩5分

■プログラム

10:00~10:10 開会のあいさつ、ならびに趣旨説明 (広井良典)

<第1部> アメリカのNGOから見た援助の現実と途上国の資源利用の実態(司会:栗田禎子)

10:10~10:40 「ミャンマー(ビルマ)の開発と人権・環境問題~アメリカのNGOの視点~」
(秋元由紀、バンク・インフォメーション・センター、在ワシントンDC)

10:40~10:55 質疑応答

10:55~11:25 「ミャンマー(ビルマ)の山村経済と資源利用」
(高橋昭雄、東京大学東洋文化研究所)

11:25~11:40 質疑応答

11:40~12:25 ラウンド・テーブル
(秋元由紀、高橋昭雄、柳澤悠、コーディネーター:栗田禎子)

12:25~13:30 ランチブレイク

<第2部> 日本のNGO、政府機関、国際機関からみた援助の現実(司会:柳澤悠)

13:30~13:55 「途上国における教育開発の進展と課題
~持続可能な福祉社会に向けて~」(勝間靖、UNICEF駐日事務所)

13:55~14:05 質疑応答

14:05~14:30 「<環境省の視点>」(田中聡志、環境省地球環境局環境協力室)

14:30~14:40 質疑応答

14:40~15:05 「日本はいいことをしようとする前に、悪いことをやめるべきだ」
(田中優、日本国際ボランティアセンター)

15:05~15:15 質疑応答

15:15~15:35 コーヒーブレイク

<第3部> 開発援助、公共性、持続可能な福祉社会の創造(司会:上村雄彦)

15:35~17:10 パネルディスカッション
(秋元由紀、田中優、勝間靖、田中聡志、高橋昭雄、広井良典、小林正弥、
コーディネーター:上村雄彦)

17:10~17:50 質疑応答

17:50~18:00 まとめと閉会のあいさつ (雨宮昭彦)

18:30~20:00 懇親会

※参加費： シンポジウム、懇親会ともに無料

【主催・お問い合わせ】

千葉大学大学院社会文化科学研究科公共研究センター

電話・ファックス：043-290-2337 メールアドレス：cpp1@shd.chiba-u.ac.jp

ホームページ：http://www.shd.chiba-u.ac.jp/21coe/index.htm